

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																												
専門学校 トヨタ神戸自動車大学校	平成4年9月16日	上田 博之	〒651-2102 神戸市西区学園東町4丁目1番地 (電話) 078-796-2121																												
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																												
学校法人 トヨタ神戸整備学園	平成4年9月16日	理事長 宮本 眞志	〒651-2102 神戸市西区学園東町4丁目1番地 (電話) 078-796-2121																												
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																											
工業	工業専門課程	ショールームスタッフ科	令和元年度 文部科学大臣認定	-																											
学科の目的	自動車販売店のサービス・営業に通用する幅広い自動車の知識・技術を持つショールーム女性スタッフを育成する																														
認定年月日	令和4年3月25日																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																								
2年	昼間	1820	300	920	600	0	0																								
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																										
40人	16人	0人	2人	46人	48人																										
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 科目毎に修得試験を行い、60点以上を合格とする また評定基準は下記のとおりする 優 評価: 100～80点 良 評価: 79～70点 可 評価: 69～60点 不可 評価: 履修試験不合格																											
長期休み	■学年始: 4月1日～4月9日 ■G W: 4月25日～5月6日 ■夏季: 7月19日～8月25日 ■冬季: 12月21日～1月7日 ■学年末: 3月14日～3月31日		卒業・進級条件	各学年毎に、定められた全科目の修得試験に合格しており、各学年における補講を含めない正規授業への出席率は、80%以上であること																											
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 個別面談、電話・メール連絡 自宅訪問、保護者連携		課外活動	■課外活動の種類 レース観戦、学園祭の実行員会 ■サークル活動: 有																											
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等 (令和5年度卒業生) 自動車販売会社 ■就職指導内容 挨拶・身だしなみ、職業理解講座、会社訪問、個別面談、履歴書添削、面接指導 ■卒業者数 9 人 ■就職希望者数 8 人 ■就職者数 8 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 88.9 % ■その他 1 人 ・就職意志なし: 1人		主な学修成果(資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和5年度卒業生に関する令和6年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三級ガソリンエンジン整備士</td> <td>②</td> <td>9人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>トヨタサービス技術検定4級</td> <td>③</td> <td>9人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>損害保険募集人資格</td> <td>③</td> <td>9人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>MOS Word</td> <td>③</td> <td>9人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>サービス接客検定2級</td> <td>③</td> <td>9人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	三級ガソリンエンジン整備士	②	9人	9人	トヨタサービス技術検定4級	③	9人	9人	損害保険募集人資格	③	9人	8人	MOS Word	③	9人	9人	サービス接客検定2級	③	9人	8人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																												
三級ガソリンエンジン整備士	②	9人	9人																												
トヨタサービス技術検定4級	③	9人	9人																												
損害保険募集人資格	③	9人	8人																												
MOS Word	③	9人	9人																												
サービス接客検定2級	③	9人	8人																												
中途退学の現状	■中途退学者 0 名 令和5年4月1日時点において、在学者16名 (令和5年4月1日入学者を含む) 令和6年3月31日時点において、在学者16名 (令和6年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由		■中退率 0 % ■中退防止・中退者支援のための取組 学業不振者への個別指導、担任制、保護者連絡及び連携、学生相談室(カウンセラー)																												
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 指定校特別寮費支援制度(寮費減免12万円×2年間) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																														
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																														
当該学科のホームページURL	https://www.toyota-kobe.ac.jp/education/showroomstaff/																														

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

自動車整備業界に関し知見を有する団体(兵庫県自動車整備振興会等)、及び主な就職先であるトヨタ販売会社の役員を含む「教育課程編成委員会」を設置して①就職先企業等において求められる人材像と専門性の動向②国または地域の産業振興の方向性③新技術の導入・普及に伴い新たに必要となる実務に関する知識、技術、技能④その他教育課程に関する事項を十分に把握、分析し、企業等の委員の意見を踏まえて教育課程(授業科目、授業内容、方法)を編成し、実践的かつ専門的な職業教育の質の向上を図る。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

- この委員会は、シヨールームスタッフ科の授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を審議し、次年度以降の教育課程編成案を作成する。
- 前項において、まず企業等の委員からの意見を求め、学校側委員との意見交換を経て十分に相互理解を図るものとする。
- シヨールームスタッフ科の教育課程編成案の作成においては、「業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員」または「専攻分野に関する学会や学術機関等の有識者」から1名以上、「実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員」から1名以上選任した委員の意見を踏まえるものとする。
- 次年度の教育課程編成案の最終案は、学校側委員がとりまとめ校長の決裁を受けるものとする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
井場元 彰久	一般社団法人 兵庫県自動車整備振興会	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	①
金井 隆行	兵庫トヨタ自動車株式会社	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	③
藤田 智文	神戸トヨペット株式会社	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	③
藤原 輝美	ネットトヨタ兵庫株式会社	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	③
山本 剛	ネットトヨタ神戸株式会社	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	③
上田 博之	専門学校トヨタ神戸自動車大学校	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	
杉原 徹	専門学校トヨタ神戸自動車大学校	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	
谷川 嘉夫	専門学校トヨタ神戸自動車大学校	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	
長澤 哲也	専門学校トヨタ神戸自動車大学校	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	
満田 克昭	専門学校トヨタ神戸自動車大学校	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	
為則 宏樹	専門学校トヨタ神戸自動車大学校	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	
秀嶋 孝嘉祐	専門学校トヨタ神戸自動車大学校	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)

- 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- 学会や学術機関等の有識者
- 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年3回(6月、9月、1月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年6月29日 13:00～15:00

第2回 令和5年10月4日 13:00～15:00

第3回 令和6年1月31日 13:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

外部委員からの意見を踏まえ、以下の事項について、令和6年度に取り組む。(令和5年度第3回議事録参照)

- ①【自動車分野に関して】「ディスプレイオーディオやナビゲーションの操作に関する知識をつけてほしい」という意見を受けて、1年生後期にディスプレイオーディオやナビゲーションの授業に「Bluetooth設定」「Miracast」「対応機種検索」の内容を追加実施する。
- ②【自動車分野に関して】「12ヶ月定期点検作業要領の変更を授業に反映してほしい」という意見を受けて、2年の実習授業にて定期的に変更情報を確認し、授業へ反映してゆく。
- ③【自動車分野に関して】「自動運転のレベル分けについての知識をつけてほしい」という意見を受けて、1年後期の授業にて自動運転のレベル0～5の定義について授業を実施する。
- ④【接客対応・業務知識に関して】「お客様に期待に応える接客対応をプロセス毎に考える機会を授業に盛り込んでほしい」という意見を受けて、2年生前期の授業でカスタマージャーニーの視点でお客様の行動と期待していることを考える授業を実施する。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

2年次に各学生の就職内定先を実習先として、学校で修得した知識・技術・技能や顧客対応を実践。その中で社会人意識や職業意識の高揚に取り組む。(80時間)

【目的】

- ①学校で修得した知識・技術・技能や顧客対応を実践し、学校の授業と実際の現場との関連・違いを身をもって体験すること
- ②社会人意識及び職業意識の高揚を図ること

【概要】

お出迎え、誘導、呈茶、ご用命確認、お客様説明などの対応業務、各種書類作成や店舗運営サポートなどのショールームスタッフの業務全般を体験することで、販売店業務の理解を行う

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

事前にインターンシップ実施要領書を受け入れ企業に提出、担当者と確認を行う。

インターンシップ期間中は定期的に企業担当者と連絡を取り、進捗確認を行う。

期間中、学生は日報を提出、企業から今後どのように努力・成長してほしいかご教授いただき、卒業までの課題・目標とする

企業は「チェックシート」にて研修学生の学修成果を評価し、学校にフィードバックする。学校はこの学修成果評価をもとに成績評価を行い、科目修得を認定する。

(3)具体的な連携の例 ※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
インターンシップ	自動車販売店でお客様対応を実践を通して、さまざまな場面に応じたお客様対応方法を修得する	兵庫トヨタ自動車株式会社 トヨタカローラ神戸株式会社 ネットトヨタ兵庫株式会社 ネットトヨタゾナ神戸株式会社 大阪トヨペット株式会社
		京都トヨタ株式会社 名古屋トヨペット株式会社

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係
<p>(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針</p> <p>学校は、教育の目的及び教育目標を達成するために、教員の能力向上に努めるものとし、「教員研修規則」を定め、毎年度計画的に教員研修を実施する。</p> <p>研修は、企業等との積極的な連携により①専攻分野における実務に関する知識・技術・技能、②授業力や指導力を修得・向上することを目的として実施し、より実践的な職業教育の質の向上に資するものとする。</p> <p>なお、各々の教員が受講する研修は、教員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて決定するものとする。</p>
<p>(2) 研修等の実績</p> <p>① 専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>研修名「自動車の電子制御技術に関する研修」(連携企業等:ダイハツ工業株式会社) 期間:令和5年6月22日(金) 対象:全教員 内容:自動車の電子制御に関する知識を向上させる</p> <p>研修名「自動車整備士養成施設の基準改正に伴う研修会」(連携企業等:近畿運輸局自動車技術安全部) 期間:令和6年3月21日(火) 対象:管理職 内容:「自動車整備士養成施設の指定等の基準」の改正について</p>
<p>② 指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>研修名「パフォーマーになるための話し方講座」(連携企業等:PST-PRO話し方教室) 期間:令和5年6月22日(木) 対象:全教員 内容:発声・活舌練習、緊張とその対処、人前で話す3つの基本、話の型(PREP法)を用いた練習</p> <p>研修名「教員教養講座」(連携企業等:社団法人兵庫県専修学校各種学校連合会) 期間:令和5年8月1日(火)～4日(金) 対象:全教員 内容:教員の資質・教養向上により、授業力・学生指導力の向上を図る</p> <p>研修名「ハラスメント案件につながりやすい学生との接し方の理解促進」(連携企業等:公益財団法人 兵庫県人権啓発協会) 期間:令和6年1月9日(火) 対象:全員 内容:「ハラスメント定義の再確認」と「事例紹介」による教員が気をつけるべき学生との接し方の知識修得と注意啓蒙</p>
<p>(3) 研修等の計画</p> <p>① 専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>研修名「新型車・新機構研修」(連携企業等:トヨタ自動車株式会社) 期間:令和6年4月22日(月) 対象:全教員 内容:新型クラウンスポーツの車両開発について(CE:清水竜太郎氏による講演)</p> <p>研修名「サービス技術研修」(連携企業等:トヨタ自動車株式会社) 期間:未定 対象:授業担当教員 内容:自動車技術の知識向上、故障診断手法の習得を図る</p> <p>研修名「保安基準研修会」(連携企業等:一般社団法人兵庫県自動車整備振興会) 期間:未定 対象:授業担当教員 内容:道路運送車両の保安基準についての理解を深める</p>
<p>② 指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>研修名「教員教養講座」(連携企業等:社団法人兵庫県専修学校各種学校連合会) 期間:令和6年8月5日(月)～8日(木) 対象:全教員 内容:教員の資質・教養向上により、授業力・学生指導力の向上を図る</p>

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

トヨタ自動車ならびに就職先であるトヨタ販売会社、卒業生評議委員等のステークスホルダーを含む学校関係者評価委員会を設置して、実践的な職業教育を目的とした教育活動や学校運営について、社会のニーズを踏まえた目標設定ならびに、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さについて評価を受ける。さらに結果を公表することで社会への説明責任を果たすとともに、企業等の学校関係者の理解を深め、教育活動への連携・協力を得て学校としての組織的・継続的な改善を図るものとする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	運営方針、事業計画、組織運営、人事・給与制度、意思決定システム、情報システム、目標の設定
(3) 教育活動	教育方法・評価等、成績評価等、資格・免許の取得指導、教員・教員組織
(4) 学修成果	就職率、資格・免許の取得率、卒業生の社会的評価
(5) 学生支援	就職等進路、中途退学への対応、学生相談、学生生活、保護者との連携、卒業生・社会人
(6) 教育環境	施設・設備等、学外実習・インターンシップ等、防災・安全管理
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動、入学選考、学納金
(8) 財務	財務基盤、予算・収支計画、監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	関係法令・設置基準用の遵守、個人情報保護、学校評価、教育情報の公開
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献、地域貢献、ボランティア活動
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ①「二級自動車整備士養成課程でのタイヤ空気充てん作業特別教育の受講を検討頂きたい」というご意見を受けて、2023年度より選択制で実施。
- ②「留学生の保護者への情報提供等の対応は検討されていますか」というご意見を受けて、2024年度の保護者会の結果報告をFacebookで配信し、母国でも学校の様子を確認できるよう改善予定。
- ③「学生が個人情報保護法について学ぶカリキュラムはありますか」というご意見を受けて、2024年度カリキュラムから自動車整備専門学校協会が提唱するコンプライアンス教育を取り入れることを計画。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和6年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
小島 満	トヨタ自動車株式会社国内サービス部	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	企業
王丸 俊介	兵庫トヨタ自動車株式会社働き方変革室	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	企業
江原 克博	神戸トヨペット株式会社営業本部	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	企業
原田 忠	トヨタモビリティ新大阪株式会社サービス本部	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	企業・卒業生
中川 幸士	ネットトヨタ兵庫株式会社サービス営業部	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	企業・卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL: <https://www.toyota-kobe.ac.jp/about/disclosure/files/5-2.pdf>

公表時期: 令和6年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取り組みに関するガイドライン」を踏まえ、以下のことを目的として、教育活動及び学校運営に関する情報を積極的に公開する。

- ① 企業等の学校関係者の理解を深め、当校の実践的職業教育活動への連携・協力を得る。
- ② 公的な教育機関として、情報公開により社会に対する説明責任を果たし、社会的な理解・評価を促進して教育の質のさらなる向上につなげる。
- ③ 入学希望者とその保護者に適切な情報を提供し、能力・適性に応じた適切な進路選択に資するものとする。なお、情報公開にあたっては、個人情報の取り扱いに十分留意するものとする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	「学校概要・沿革」、「教育理念」
(2) 各学科等の教育	「学科紹介、カリキュラム、設備・教材」、「就職・進路(就職実績)」、「情報公開(授業方法・内容及び年間計画・時間割)(入学生数・在学生数)(学習の成果として取得を目指す資格・検定)」
(3) 教職員	「情報公開(教職員数・組織図・教員の専門性)」
(4) キャリア教育・実践的職業教育	「就職・進路(就職支援)」
(5) 様々な教育活動・教育環境	「情報公開(学校行事への取り組み状況)」「キャンパス・寮情報(クラブ紹介)」
(6) 学生の生活支援	「情報公開(学生の生活支援への取り組み)」
(7) 学生納付金・修学支援	「学生募集要項(学生募集要項:入学金・学費等)(奨学金)」
(8) 学校の財務	「情報公開(決算書)」
(9) 学校評価	「情報公開(自己点検自己評価・学校関係者評価)」
(10) 国際連携の状況	「学生募集要項(学生募集要項:外国人留学生の方へ)」
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)

URL: <https://www.toyota-kobe.ac.jp/about/disclosure/>

授業科目等の概要

(工業専門課程 ショールームスタッフ科) 令和6年度															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		接客対応Ⅰ	お客様対応に必要な要素を理解し対応方法の基礎を知る おもてなしの基礎、社会人メイク、表情トレーニング、姿勢とウォーキング、発声方法、ヘアメイク、お客様対応ロールプレイ	1前	57		△	○		○	○	○		
2	○		接客対応Ⅱ	対応スタッフに必要なとなる基本的な所作を修得する 電話対応、お客様対応ロールプレイ、商品コンサルティング、文字の書き方、姿勢とウォーキング、保育体験、サービス接客検定対策	1後	78		△	○		○	○	○		
3	○		店舗業務基礎	自動車販売店の仕事やトヨタサービスの考え方を理解する 店舗見学、仕事の基本、販売店の仕事、トヨタサービスの考え方、ショールームスタッフの役割	1前	23		△	○		○	○	○		
4	○		業務知識Ⅰ	ショールームスタッフに必要なとなる販売・サービスの知識を修得する サービス部門の業務知識、自動車に関する法律、登録に関する知識	1前	15		△	○		○	○			
5	○		販売店実務Ⅰ	お客様対応に必要なトヨタの知識や商品知識、それらをわかりやすく伝える手法を身につける トヨタの取扱車種、カタログの見方、説明話法、商品説明ロールプレイ	1通	54		△	○		○	○			
6	○		店舗装飾実習Ⅰ	店舗で必要となる装飾技能を修得する 店舗装飾の考え方、フラワーアート、店舗装飾実践	1前	25		△	○		○	○	○		
7	○		店舗装飾実習Ⅱ	店舗で必要となる掲示物の知識や制作技能を修得する POPの基礎知識、POP作成、POPの効果的活用方法	1後	53		△	○		○	○	○		
8	○		情報処理Ⅰ	文書作成や売上計算を行う上で必要となるパソコン操作の基礎知識を修得する PC基本操作、Wordでのイベントチラシ作成、PowerPointでのプレゼン資料作成、Excel基本操作、メールの基本操作、SNSリテラシー	1通	50		△	○		○	○			
9	○		英語表現Ⅰ	ショールームスタッフとして必要となる英会話の基礎を修得する Greeting、Direction、Shopping、Restaurant	1前	12			○		○		○		

10	○		国語表現	一般常識として知っておきたい漢字や四字熟語など、基礎的な国語力を身につける 漢字、四字熟語、対義語・類義語	1通	20		△	○		○	○					
11	○		一般常識	ショールームスタッフとして必要となる一般常識を身につける 計算問題、時事問題、自己分析、面接マナー	1後	51		△	○		○	○					
12	○		キャリア開発 I	社会人として必要となる教養を身につける キャリアデザイン、ライフプラン、ワークライフバランス、セルフマネジメント、就職対策講座	1通	55		△	○		○	○	○				
13	○		学科 自動車基礎	自動車の基礎知識および装備品の使用方法を理解する 自動車の種類、安全作業、装備品の操作方法、部品交換作業	1前	36		○			○	○					
14	○		実習 自動車基礎	自動車の基礎知識および装備品の使用方法を理解する 自動車の種類、安全作業、装備品の操作方法、部品交換作業	1前	21					○	○	○				
15	○		学科 自動車技術 I	自動車の基本構造を理解する 安全作業、工具の取扱い、走る・曲がる・止まる仕組み、エンジン構造、動力伝達装置構造、ハイブリッド車概要	1前	28		○			○	○					
16	○		実習 自動車技術 I	自動車の基本構造を理解する 安全作業、工具の取扱い、走る・曲がる・止まる仕組み、エンジン構造、動力伝達装置構造、ハイブリッド車概要	1前	85					○	○	○				
17	○		学科 自動車技術 II	自動車の基本構造を理解する サスペンション、タイヤ・ホイール、ブレーキ、ステアリングの構造、電気の基礎、工作作業、安全装備	1後	28		○			○	○					
18	○		実習 自動車技術 II	自動車の基本構造を理解する サスペンション、タイヤ・ホイール、ブレーキ、ステアリングの構造、電気の基礎、工作作業、安全装備	1後	69					○	○	○				
19	○		学科 自動車技術 III	自動車の基本構造を理解する エンジンが動く仕組み、エンジン本体構成部品、潤滑装置、冷却装置、燃料装置、吸排気装置の構造、エンジン分解・組付け、自動車装備品説明のロールプレイ、ディーゼルエンジンやハイブリッドの基礎知識	1後	36		○			○	○					
20	○		実習 自動車技術 III	自動車の基本構造を理解する エンジンが動く仕組み、エンジン本体構成部品、潤滑装置、冷却装置、燃料装置、吸排気装置の構造、エンジン分解・組付け、自動車装備品説明のロールプレイ、ディーゼルエンジンやハイブリッドの基礎知識	1後	105					○	○	○				
21	○		基礎工学 I	自動車に使われる燃料と潤滑剤の性質を理解する	1前	8		○			○	○					

22	○		基礎工学Ⅱ	自動車に使われる材料・部品、及び基礎的な原理を理解する	1後	19		○			○		○				
23	○		自動車諸元	自動車カタログに記載されている諸元を理解する	1後	11		○			○		○				
24	○		接客対応Ⅲ	より実践的なお客様対応ができるよう、さまざまな場面での対応方法を修得する 商品コンサルティング、お客様対応ロールプレイ、ウェルキャブ、フリーマーケット実施、ファッションメイク、市民救命講習	2前	49		△	○		○	○	○	○			
25	○		接客対応Ⅳ	より実践的なお客様対応ができるよう、さまざまな場面での対応方法を修得する お客様対応ロールプレイ、受付実践	2前	37		△	○		○		○	○			
26	○		インターンシップ	自動車販売店でお客様対応を実践を通して、さまざまな場面に応じたお客様対応方法を修得する	2後	90			○			○		○	○	○	
27	○		プレゼンテーション	調査・研究を通してお客様対応に必要なことを整理・理解し、わかりやすく発表する	2通	62		△	○		○		○				
28	○		業務知識Ⅱ	ショールームスタッフに必要な販売・サービスの知識を修得する 経理、自動車保険、契約法に関する基礎知識、トヨタ販売店の業務ツール、ブログ作成	2通	36		△	○		○		○				
29	○		販売店実務Ⅱ	お客様対応に必要なトヨタの知識や商品知識、それらをわかりやすく伝える手法を身につける トヨタの取組み、新車商品知識、他メーカー知識、サービス商品知識、ファイナンス	2通	36		△	○		○	○	○				
30	○		情報処理Ⅱ	店舗業務で活用できるWord操作スキルを身につけるとともにMOS検定試験に合格する	2通	36		△	○		○		○				
31	○		情報処理Ⅲ	店舗業務で活用できるPCスキルを修得する Wordでの文書作成、Excel（グラフ、関数）	2後	36		△	○		○		○				

32	○		自動車保険	自動車保険に関する知識を身につけ、損害保険募集人資格を取得する	2後	31		△	○		○	○	○				
33	○		キャリア開発Ⅱ	社会人に必要となる教養を身に付ける 学外おもてなし研修、自動車販売店の経営、入社前講話、資格試験対策	2通	65		△	○		○	○	○				
34	○		学科 自動車技術Ⅳ	自動車の基本構造を理解する 電気回路、始動装置、充電装置、点火装置、電装品の基礎知識 クラッチ、トランスミッション、デファレンシャルの基礎知識、日常点検の方法	2前	13		○			○	○					
35	○		実習 自動車技術Ⅳ	自動車の基本構造を理解する 電気回路、始動装置、充電装置、点火装置、電装品の基礎知識 クラッチ、トランスミッション、デファレンシャルの基礎知識、日常点検の方法	2前	85					○	○	○				
36	○		学科 自動車技術Ⅴ	自動車の基本構造を理解する ボデー電装品、エアコン、電子制御装置の基礎知識 タイヤ・ホイール、サスペンション、アライメント、ステアリング、ブレーキの基礎知識 ディーゼルエンジンの基礎知識 ハイブリッド車の点検方法	2前	13		○			○	○					
37	○		実習 自動車技術Ⅴ	自動車の基本構造を理解する ボデー電装品、エアコン、電子制御装置の基礎知識 タイヤ・ホイール、サスペンション、アライメント、ステアリング、ブレーキの基礎知識 ディーゼルエンジンの基礎知識 ハイブリッド車の点検方法	2前	74					○	○	○				
38	○		学科 自動車技術Ⅵ	自動車の基本構造を理解する 12か月点検、トラブル解消方法、最新安全装備、新機構の基礎知識	2後	13		○			○	○					
39	○		実習 自動車技術Ⅵ	自動車の基本構造を理解する 12か月点検、トラブル解消方法、最新安全装備、新機構の基礎知識	2後	50					○	○	○				
40	○		学科 自動車技術Ⅶ	自動車の基本構造を理解する 外部診断機の活用方法、点検整備機器の取扱い方法、多頻度整備作業の実施	2後	5		○			○	○					
41	○		実習 自動車技術Ⅶ	自動車の基本構造を理解する 外部診断機の活用方法、点検整備機器の取扱い方法、多頻度整備作業の実施	2後	69					○	○	○				
42	○		学科 エステイメーション	板金塗装修理の見積もり方法を理解し、エステイメーション検定3級資格を取得する	2後	11		○			○	○					

43	○	実習 エステ メーション	板金塗装修理の見積もり方法を理解し、エ ステメーション検定3級資格を取得する	2 後	43				○	○	○		
44	○	自動車法規	道路運送車両法および道路運送車両の保安 基準について理解する	2 前	10		○			○	○		
45	○	自動車総合	国家3級ガソリンエンジン整備士資格取得 に向け、自動車知識の総仕上げを行う	2 後	70		○			○	○		
合計		45科目			1820 単位時間(単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1 学年の学期区分	2 期
◆進級 各年次毎に、定められた全科目の修得試験に合格しており、各年次における補講を含めない正規授業への出席率は、80%以上であること ◆卒業 2年次の修了が認められ、学科・実習それぞれ補講を含めた出席時間数が一種自動車整備士養成施設指定基準の定めによる教育時間数を満足していること	1 学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。